

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)児童福祉法に規定する事業(児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、障害児相談支援事業等) (2)センターとしての中核的機能に関する業務 (3)施設及び設備の維持管理

4. 採点表								
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	(1)利用状況 (10点)	①施設の稼働率 (児童発達支援事業利用人数÷ (開所日×定員))	施設の特性から評価対象外の項目					
		②利用人数	施設の特性から評価対象外の項目					
	運営・利用状況 (40点)	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(25点)	仕様書以上:20~16点、仕様書に忠実:15~12点、仕様書の一部不実施(軽微):11~9点、仕様書の一部不実施(中程度):8~4点、それ以下:3~0点	・別紙の事業評価表のとおり		仕様書以上 19点	児童発達支援センターとして2年目となり、中核的機能を担う施設として求められることが多い中、堅調な施設運営を行うことができています。 一般療育の利用人数は前年度並みに推移、相談支援事業については計画相談・モニタリング件数が大幅に増加している。専門職員による個別指導については、令和7年度よりわかばに通所のない利用児を受け入れており、支援の幅を広げている。 地域の要望に応え専門職派遣事業を実施することや、毎月1回開催の事業所連絡会議の実施内容が工夫されていること、会の終了後に事業所間の交流の時間を設けていることなど、中核機能の役割として地域全体の療育の発展・質の向上が図られている。	19点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(5点)	内容・事業数等が期待以上:20~16点、内容・事業数等が例年通り:15~12点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:11~9点、内容・事業数等が例年より劣る:8~4点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:3~0点	・別紙の事業評価表のとおり		内容・事業数等が期待以上 19点	自主事業としては、ワンパク教室やなないうら広場など関係機関が実施する事業に参加し、関係者と情報共有を行いながら保護者支援に努めることで、療育が必要な児童の発達支援に繋げることができている。 各種会議、研修会にも積極的に参加し、かつ、専門職派遣を行うことで、発達支援の知識の普及啓発にも取り組んでいる。わかばのような児童発達支援センターは県内ではまだ少ないため、関係者や他自治体からの多くの見学依頼にも対応している。特に、診断書から発達支援につながるケースもあることから、県病院関係者など、医師など医療専門職からの見学希望にも対応し、関係機関との連携を深めている。 施設外での支援活動や、積極的に関係者と顔の見える関係づくりに努めることで、幅広い支援体制の構築が図られている。	19点
		①清掃	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する	・職員による事業所内清掃・事業所周围の清掃 毎日 ・有償ボランティアによる清掃 2回/週 ・事業所周围及び職員駐車場除草作業 2回/年 軽微なものは毎日 ・ネズミ捕り・害虫駆除4回/年 (6/2・8/12・11/11・2/5)		適正(普通) 2点	適正に実施されている	
		②保守・点検		・職員による安全点検 1回/月 ・電気設備点検 4回/年 (4/7・7/14・9/22・11/25・1/15・3/24) ・消防設備点検 2回/年 (7/4・1/26) ・遊具保守点検 2回/年 (7/1・3/24) ・空調点検 3回/年 (4/8・7/29・1/6)		適正(普通) 2点	適正に実施されている	

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
2	施設管理 状況 (25点)	(1)施設管理 業務の実施 状況（10 点）	③保安・警備	10	(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・機械設備 防犯・火災監視 1回/月初め ・消防訓練 (6/18・10/28) ・AED設置・点検 (9/19)	適正(普通) 2点	適正に実施されている	10点		
			④小規模修繕			・救助袋の操作方法看板張替え ・廊下床材の浮き上がり修正（再度） ・園庭へのネコによる糞害あり、侵入防止網の設置 ・排水ポンプ異常警報あり、対応済み ・建物1年点検（7/28）その後軽微な修繕実施 ・階段踊り場修繕（2/17～19）	適正(普通) 2点	適正に実施されている			
			⑤危険箇所の把握（施設の瑕疵）			・リノベーションした建物について、窓枠の低さから、安全管理の必要性があり、注意している ・玄関は安全管理のため内外からできる施錠を徹底している ・駐車場内は一方通行にし、安全面に配慮している	適正(普通) 2点	適正に実施されている			
		(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・多治見市社会福祉協議会文書管理規程により、管理・保管	適正(普通) 2点	適正に実施されている	10点		
			②環境への配慮			・空調の設定温度を適正なものとし、(夏場28.0℃・冬場20.0℃)利用者にも協力を呼び掛けている。服装にも配慮している ・利用者のいない部屋の消灯を徹底している ・会議資料は共有フォルダで閲覧することで印刷は最低限とし、必要に応じて裏紙を活用している	適正(普通) 2点	適正に実施されている			
			③バリアフリー			・思いやり駐車場の設置、玄関スロープの設置 ・聴覚障がい者には必要に応じて手話通訳派遣を依頼・日常的にはタブレット使用 ・第一言語が日本語でない保護者に対してタブレットの翻訳機能を利用している	適正(普通) 2点	適正に実施されている			
			④備品管理			・備品管理台帳はこども家庭課でデータ管理 ・市の備品には記載をし、適正に使用 ・整理整頓をむねとし、1回/月に安全点検を兼ねて管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている			
			⑤個人情報保護			・多治見市社会福祉協議会 個人情報保護規程により適正に実施 ・年度初めに個人情報に関する職員研修を実施 ・個人情報・台帳は鍵付きキャビネットで保管 ・共有フォルダ上での個人情報は暗証番号を利用	適正(普通) 2点	適正に実施されている			
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・社協の保険に加入 ・事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点		
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	149,776,579円(収入)÷149,457,155×100(%)≒100.2%	105%未満～100% 4点	配点基準に基づき評価	4点			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・個別支援計画の振り返りのための個別懇談2回/年 ・親子療育においては半年ごとにグループ懇談やおしゃべり会を実施し、保護者を含めた生活の把握をするとともに、発達支援に役立てている ・半年に一度利用者に事業所評価とアンケートを行っている おおむね満足との回答をいただいている ・職員からのフィードバックについて、特に小集団では一人一人に時間が持てないことについてご意見をいただいた。毎回は難しいことを伝えとともに、必要に応じて個別での時間をとれることを伝える。	期待以上 9点	グループ懇談やアンケートをもとに利用者の声を集約し、意見に対して適切な対応、工夫がとられている。	9点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・特になし	期待以上 5点	苦情なし	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・地域方々(班長・区長・民協)と連携しており、地域行事の夏祭り、作品展、フリーマーケットの参加をお誘いいただき、参加した。好評をいただいている。 ・県下、市内ともに関心をいただき、見学や研修会を行っている(副園長会見学、笠原、小泉地区特別支援コーディネーターの見学と研修、県病院医師等見学、放デイ事業所見学、大垣市、岐阜市事業所見学、OT見学、民生児童委員研修特別支援コーディネーター研修講師等) ・発達支援奨励児に、早期から発達支援を受けられるよう見学、面接を実施した ・統合にあたり、プログラムを作成し、多様な発達支援ができ、かつ、多くの利用児が利用できるようにした ・地域の中核的機能を持つために毎月連絡会議を企画・運営した	期待以上 15点	地域関係者と連携を図り、各種地域イベントへ積極的に参加することで地域に根付いた活動が行われている。また市内外から多数の関心を得ており、複数の関係者からの見学、視察の受入が実施されている。	15点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	・提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	・指示なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計91点	
								施設統合・センター化2年目となるが、ここまで大きな問題は発生しておらず、中核施設として軌道に乗っている。前年と比較し、地域・関係各所との連携がより一層強化されており、情報共有や支援調整が適正に実施される体制が整っている。また、相談支援や専門的支援においては内容の充実が図れており、地域における児童発達支援の拠点としての役割を果たしている点を高く評価する。		極めて良好	